

浙江大学侨福建设基金资助

日中語彙の比較語彙論的研究

—基幹語彙を駢象としての試み—

王揺春揺著

摇摇图书在版编目(CIP)数据

摇摇日中词汇的比较词汇论研究 轱春著 援—杭州 浙江
摇摇大学出版社 圆用源
摇摇陈丹 圆用源

摇摇 I 援日 援瑶 II 援王 援瑶 III 援词 援汇 援对 援比 援研 援究 援语、
汉语 援瑶 IV 援猿猿

摇摇中国版本图书馆 悦孕数据核字(圆用源)第 圆用源号

出版发行摇摇浙江大学出版社

(杭州浙大路 猿号 摇摇邮政编码 猿用源)

(摇摇摇摇摇摇摇摇摇摇摇摇摇摇摇摇摇摇)

(网址 摇摇摇摇摇摇摇摇摇摇摇摇摇摇)

责任编辑摇摇樊晓燕

排摇摇版摇摇浙江大学出版社电脑排版中心

印摇摇刷摇摇浙江大学印刷厂

开摇摇本摇摇愿皂皂 伊员愿皂皂 摇摇员圆

印摇摇张摇摇员猿

字摇摇数摇摇猿圆千

版 印 次摇摇圆用源年 远月 第 员版 摇摇圆用源年 远月 第 员次印刷

印摇摇数摇摇圆用源年 圆用源

书摇摇号摇摇陈丹 圆用源 摇摇摇摇· 圆页

定摇摇价摇摇猿圆元

目摇摇次

第一章摇序摇论	(员)
员· 员摇摇はじめに	(员)
员· 圆 目的	(源)
员· 猿 方法	(愿)
员· 源 意味分类の枠組み	(员愿)
员· 缘 基础作业に主に使う辞书	(员愿)
第二章摇意味分野别日中基傒语勳对照表	(员源)
圆· 员 资料について	(员愿)
圆· 圆 意味分类の基准	(员愿)
圆· 猿 意味コード付け作业の基准について	(圆愿)
圆· 源 !!! 意味分野别日中基傒语勳对照表!!!	(猿愿)
圆· 缘 缠め	(猿愿)
第三章摇语素と语素コード	(猿愿)
猿· 员 问题提起	(猿愿)
猿· 圆 中国语の“语素”	(猿愿)
猿· 猿 中国语の“语素”认定とコード付けの试み	(源愿)
猿· 源 日中汉字语素の对照	(缘愿)
猿· 缘 缠め	(缘愿)
第四章摇意味构造分析	(缘愿)
源· 员 目标	(缘愿)

源・圓	グループ別意味構造分析法	……………	(迂圓)
源・猿	コード別意味構造分析法	……………	(猿圓)
源・源	纏め	……………	(猿源)

第五章	揺日中基僊語勤における同形語	……………	(猿圓)
縁・員	手順	……………	(猿圓)
縁・圓	日中基僊語勤における同形語	……………	(猿圓)
縁・猿	中国語にない日本語の漢字語	……………	(猿猿)
縁・源	意味分類考察	……………	(猿源)
縁・縁	纏め	……………	(猿縁)

第六章	揺むすびにかえて	……………	(猿圓)
-----	----------	-------	--------

参考文献	……………	(猿縁)
------	-------	--------

付録	……………	(圓猿)
----	-------	--------

摇摇摇摇①	①意味分野別日中基僊語勤対照表①	……………	(圓猿)
-------	------------------	-------	--------

摇摇摇摇②	②中国語語素表②	……………	(猿猿)
-------	----------	-------	--------

摇摇摇摇③	③日中漢字語素対照表③	……………	(猿猿)
-------	-------------	-------	--------

前書き

田島毓堂氏によって提唱されている『比较语勤论』は、従来の语勤研究の領域に全く新しい构想のもとに出発した、新しい学问分野である。その理论に基づいて二言語语勤の比较研究の实践として、本研究は试みられたものである。

『比较语勤论』の方法によって、语勤の集团的规范の侧面から日中语勤の全体像を見ることがこの研究の目的である。その対象语勤として、日本語语勤は『日本語教育基本语勤七种比较对照表』から二种以上の语勤表に共通する**獨家語**、中国語语勤は『外国人实用汉语常用词表』の**獨家語**を採用し、それぞれ基干语勤的なものとして选定し、个々の語に意味分野のコードを付けた上で、いかなる意味分野別语勤構造を持つかを検討し、その特徴について记述し、さらにその要因について分析を試みたものである。

その基本になる、コード付けの枠組みについては㊦分类语勤表㊦に依拠しつつ、比较语勤论的研究のために他言語の言葉にコードを付ける際、均衡のとれたコード付けのために設定された『语素コード』の枠組みによってコード付けを行うものであるが、中国語の単語に付けるにあたり、いかなる単位を設定すべきかについて種々考察し、汉字単位でもなく、単語単位でもなく中国語の语素単位が適切であることを確認した。この結果として多義語の扱いを含めて选定された基干语勤それぞれについて语素コードが付与された。

そして、语勤分析のために最も有効であると考えられる意味构造分析法、すなわち、それぞれの语勤の意味分野別构造が、どの部分の密度が濃く、どこが希薄であるか、また、いかなる构造上の特徴を持つかを明らかにしようとする方法によって、グループ別・コード別に作成された一覧表をもとに、カイ自乗検定を施した上、それぞれ

国語でないし異語以下の危険率で出現に有意差ありと認められた項目について、項目ごとに詳細に述べ、同時にそうになっている要因についても分析を試みた。

日中同形語についても検討している。同形で、同じ意味のもの、一部の意味が重なるもの、意味の異なるものに分けて、それぞれ一覧表を作り、中国語にない日本語の漢字語を表示する。

結びにおいて、拙著で、日本語・中国語が均衡のとれた基準においてコード付けが出来ることを確認したこと、それによって、語勤の比較研究に道の開けたことを述べ、同時に、文化比較に有効であることを主張し、今後の課題を述べている。

個々の語の研究が古来盛んであったのに対し、語勤を総体として扱う研究の未開性・不毛性は指摘されることすらまれであり、言語研究者の間でもその理解は極めて乏しかった。従来、語勤研究は個々の語の研究(越語誌)でなければ、辞書の研究に代表され、語勤を文字通りの語の集合としての語勤の扱うは、その必要性が認識されなかったことからくる方法の未開発のため、ほとんどなされてこなかった。比較語勤研究はこれに突破口を開くものである。従来の語勤研究の領域に全く新しい構想のもとに出発した、新しい学問分野が導入されたのである。

王揺春

國語原年 远月

前摇言

由田岛毓堂先生开创提出的“比较词汇论”和以往的词汇研究相比,属全新设想下崭新的学术领域。根据此理论,作为对日中词汇的比较研究的实践,进行了本研究。

用“比较词汇论”的方法,从词汇的整体规范方面来考察日中词汇的整体构造是研究的主要目的。作为具体研究的对象词汇,日语词汇从《日语教育基本词汇七种比较对照表》里选择了猿猿个词,选择的标准是出现在前述两种以上的词汇表里的词。中文词汇采用了《外国人实用汉语常用词表》的猿猿个词,把它们当作各自的基干词汇,给各个词标注意义编码、分析研究它们各自以意义领域进行分类的词汇构造,记述特征,并分析原因。

此研究的基础作业标注意义编码的依据是“分类词汇表”。在和其语言进行比较时,编码基准的统一是比较词汇研究的关键,为此而设定的基准是“语素编号”。对中文词汇进行编码标注作业时,在遵循以上基准的同时,充分考虑了中文的特点,确立了以中文“语素”为单位进行标注。由此完成了包括多义词在内的基干词汇的标注意义编码的作业。

按照词汇分析最有效的意义构造分析法,即各个词汇的意义领域构造,词汇分布在各个领域的多少,构造上的特征等,在完成分组意义编码、单个编码制作的一览表的基础上,进一步进行了自乘检定。对出现有意差的项目,逐个进行详细的叙述,并分析了其形成原因。

作为此研究的应用,本文还探讨了日中同形词、包括同形同义、同形异义、一部分意义差异的日中同形词以及中文中没有的日语汉语词汇,制作了各个意义领域一览表,并考察分析。

最后部分,叙述了并确认了日中成功地用同一基准均衡地标注意了意义编码。据此开拓了日中比较词汇研究的新途径。并实践性地说明

了比较词汇论方法对异文化比较研究的可行性。进一步提出了今后的课题。

词的汇合意义的词汇研究,和语言学其它领域纯粹着眼语言内部问题,或者单纯解决语言形式问题就可以了结的不同,因为把握词汇整体本身即非易事,何况还有很多单凭语言内部事实所不能解决的问题。这也是词汇所特有的性质。即词汇和语言外事实密切关联。词汇研究不能设想脱离造就那种语言的文化,反之亦然,两者密切相关。音韵和文法构造语言的框架,它们通过词汇完成语言表现,所以语言研究决不能仅局限于音韵和文法,只有待词汇研究的合流,才能展现语言全貌。决不能把语言的研究局限于语言内部的研究,倘若那样就不算完整。不寻求语言与造就它的文化、风俗、习惯的关系,就挖掘不出其本质。比较词汇研究的根本目的就是通过语言揭示文化的根底,为异文化的比较、理解开拓新的途径。

我们知道,长期以来,相对于作为词汇组成单位的各个单词研究的进步领先和众多成果,于词汇,即词的汇合的研究,特别是把一种语言的词汇整体作为研究对象的研究,一直空白,不被顾及。专门的语言研究者对此的理解也较模糊。说到词汇研究不是对单个词的研究(越词源)就是指词典编撰等。从词汇的整体规范方面即词的集合的角度的认识,因为方法的未开发,几乎没有被涉及。“比较词汇论”的研究开始把这种词的汇合作为研究对象,弥补了词汇研究长期以来的片面不全,在词汇研究领域打开了突破口,导入了崭新的学问领域。

王摇春

圆源年 远月

第一章 揺序 揺論

員・員揺はじめに

揺言語の研究・教育を進めるためには、外国語との比較研究が有力な手段である。ある言語における普遍的性格や特殊な性格は、外国語との比較によって明らかにされるものである。日本語と中国語は形態の異なる言語でありながら、同じ漢字を使っていること、文化の面で諸々の繋がりがあることから、言語(音韻、文法、意味)の各方面の中で特に語勳論の分野で混乱を招致し易い。例えば、日本語の!!!勉強!!! 便宜!!! 天井!!!の意味と中国語の!!!勉強!!! 便宜!!! 天井!!!の意味とはズレ・不一致がある。このような例はほかにも多く見られる。そして、指示詞にコソア(近称、中称、远称)という三分法をもつ日本語を軸にして考えてみると、中国語には二、つまり近称には!!!这!!!远称には!!!那!!!を用いる二分法である。亲族関蒸語勳を見ると、日本語より中国語の方がもっと尪雑になっている、数的形式を見ても、問題になるのが察知できる。日本語の!!!耳かき!!! つまようじ(爪楊枝・爪楊子)!!!と中国語の!!!耳挖儿!!! 牙签儿!!!のような語にはあまり体系性が見られない。造语法から見ると!!!耳かき!!!という語は!!!耳垣かき!!!とすぐ分析できる結合契機のある透明な語である。しかし!!!つまようじ!!!は一般の日本人には不透明な語である。!!!つまようじ(爪楊枝・爪楊子)!!!はむかし齒ブラシとして使われた!!!楊枝!!! (杨柳の枝で作られた)という語を基にして造られた語で、!!!こ(小)楊枝!!!とも言われる。!!!耳かき!!!とは完全に異なる形成过程をもつ語である。いちごなどの小さい食べ物を突き刺す

ときにも用いるが、歯のあいだにはさまった物をとったりするとき
に使うことが多い。中国語の!!!耳挖儿!!!牙签儿!!!にも共通成分は見
られない(一方は动词!!!ホル!!!、他方は名词の!!!签!!!である)が、!!!
耳!!!と!!!歯!!!が用いられているので、日本語の!!!耳かき!!!と!!!つま
ようじ!!!よりは透明であり、相互の距離は近いと言える。また、語勤
構造の角度から見ると中国語における形容語の占める割合より、日
本語の形容語率は小さい(㉔語勤の研究と教育(下)㉕国立国語研究
所 泉鏡子)。更に、一定の意味領域において、日本語の語勤が豊富であ
るのに対して、中国語には、それが貧弱であったかもしれない。その
反対の場合も同じである。このように語勤論の分野で日中二言語を
めぐって、個々の語の意味、造语法、語構成、語勤構造、語勤の意味分
類など数多くの問題がある。一方、日中二言語間の語勤についての
比較研究は一部の分野において行われているのが現状で、語勤の集
団的規範の側面からの研究はまだほとんど行われていない。二言語
語勤の比較研究において!!!比較語勤論!!!^①から出発する研究、つま

① 田島毓堂!!!比較語勤論の构想—異文化比較研究のために—!!!(㉖国際開発研
究フォーラム 泉鏡子)

揺揺!!!比較語勤論!!!は、共時的に他言語間に適用されると同時に、通時的に
は同じ言語に適用して語勤史の記述をすることになる。(中略)その対
象は、他言語にとるか、同一言語の中での歴史的側面にとるか。前者であ
れば、他言語の語勤のいわゆる対照研究となるし、後者ならば、まさに語
勤史研究をなすことになると考えられるということである。

田島毓堂!!!比較語勤研究の提案とその构想!!!(㉗名古屋大学文学部研究論集
㉘文学 泉鏡子)

揺揺ここでいう!!!比較!!!は比較言語学にいう!!!比較!!!とは異なる。比較言
語学では、言語の歴史的研究に際して、特に同系にあると考えられるもの
についての比較をいうのが通例である。つまり、!!!比較!!!が同系の言語
間のそれに限定されている。しかし、ここでいう比較語勤研究の比較は、
その枠をとりはらったものである。つまり、同系統、異系統を問わず、文
字どおり!!!比較する!!!ことをいう。

り、語彙全体、文字どおり語の集合として語彙を扱う分野、なかでも、一言語の語彙全体を対象にするというような研究、その理論が田島毓堂氏によって提唱されている。その理論に基づいて異言語語彙の比較研究において個々の語についての考察だけでなく、!!! 比較語彙論!!! 的方法となる文字通りの—!!! 語彙研究自体、語の集合としての正真正銘の語彙を対象とした!!! (田島 毓堂) 語彙比較研究が可能になる。つまり、従来の語彙研究の領域に全く新しい構想のもとに出発した、新しい学問分野が導入されたのである。ここでいう!!! 比較!!! は!!! 比較語彙論!!! において示された使い方に従う。その理論に基づいて二言語間の比較研究の実践が期待されている。

揺日本語において個別語彙(テキスト語彙)^②について大野揺晋、榊島忠夫によって品詞別構成に特徴のあることが指摘された。㊦分類語彙表㊦を基本的根拠とする語彙構造の分析の方法としての意味構造分析^③は、その方法を阪倉篤义!!! 万叶語彙の構造—(その一) 名詞について—!!!、浅見揺彻!!! 古代の語彙 II!!!、伊牟田経久!!! 源氏物語名

② 田島毓堂!!! 語彙論の課題—集団規範と個別の実践—!!! (㊦名古屋大学国語国文学㊦ 浅見揺彻 塚本新) 揺揺

揺揺個々の言語資料・言語作品—これはパロールの出来事である—の語彙 (この語彙を!!! 個別語彙!!! と称しておく)

田島毓堂!!! 語彙論のための用語!!! (㊦名古屋大学文学部研究論集 塚本新 浅見揺彻)

揺揺個別の実現としての言語活動の結果を語彙として把握したものをいう。!!! テキスト語彙!!! というのもこれを指す。実際に存在するものである。各種文学作品や言語資料の語彙をいう。これを対象に語彙分析を進める場合は、使用率を問題とすることができる。いわば、パロール的なものである。

③ 阪倉篤义!!! 万叶語彙の構造—(その一) 名詞について—!!! (㊦万叶㊦ 浅見揺彻 塚本新) 揺揺 浅見揺彻!!! 古代の語彙 II!!! (㊦講座語彙史 浅見揺彻 塚本新) 揺揺 浅見揺彻!!! によって継承された語彙分析法を!!! 意味構造分析!!! と称しておく。語彙を形成する各単語に㊦分類語彙表㊦または、その前身の国立国語研究所報告にある語彙表によって、対応すると思われる語の意味番号を与え、語彙を意味分野別に分けてみる方法である。意味分野別の構成がどのようになっているかをみる分析法である。

词语勤の构造!!!、田岛毓堂!!! 语の单位—语勤论の見地から—!!! !!! 荣花物語の语勤研究序说—和歌语勤について—!!! !!! 源氏物語语勤意味コード试案—语勤の意味构造分析のための、意味コードの付け方—!!! などによって确立された。先学の理論及び方法を引き継いで、本研究では!!! 日中基傒语勤!!! 的なものを対象に、日中二言語の语勤构造を!!! 比较语勤论!!! の方法で比较・検討する試みを行う。その類似点と相連点を明らかにしたいのである。従って、日中语勤の全体像(集团的规范の側面からの比较研究)を把握することを目指す。

员· 圆 目的

员· 圆· 员 日中语勤の集团的规范の側面からの比较研究を試みる

揺日本語については、林大氏がまとめられた㊦分类语勤表㊧(国立国語研究所資料集 远员源年刊)がある。この㊦分类语勤表㊧は、雑誌怨種に用いられた高使用率の约苑圃国語を中心にし、他の语勤資料をも参照して得られた计约猿圃国語を名词类、动词类、形容词类、その他の源类に分ち、分类コードを立てて分类したものである。コードの系統性その他に新しい工夫があり、日本語の最初の科学的な语勤表として、研究・教育の面で利用されることが多い。

揺中国では中国語の语勤についての研究は音韻・文法の研究よりかなり早くから行われている。所谓训诂学である。その最も代表的なものとして西汉時代にできた㊨尔雅㊩は広く知られている。それから员缘年頃まで、语勤の研究はずっと中心的な地位にあり、语勤の意味論

的な扱い方で数多くの成果を収めている。1984年に④同义词词林④が作られた。もともと中国には⑤类书⑤(⑥太平御覧⑥・⑦永楽大典⑦のような)と呼ばれる百科事典的な内容をもつ書物が存在したが、约苑万語を盛り込んだ意义分类語動表が新しく登場したわけである。⑧圓大类、⑨源中类、⑩源小类で、猿怨家項の語群に分けられている。

揺上述のような研究成果を踏まえ、⑪分类語動表⑪と⑫同义词词林⑫を直接比較して、!!!意味分野別日中語動対照表!!!を作成すること、及びそれに対する意味構造分析ができればもっとも望ましいことである。しかし、合わせて10万以上の語の基礎作業を行うことは、限られた期間では不可能である。それゆえ、日中語動のなかから所谓!!!基俵語動!!!を選定し、日本語の⑬分类語動表⑬に基づいてそれぞれ相応するコードを付けて、その上、意味構造分析を行う。それによって、日中語動の基俵語動における集团的规范の側面からの比較研究の試みをする。試みを通して、理論及び方法に新たに得たヒントのもとに、次第に、もっと大きい範囲(⑭分类語動表⑭と⑮同义词词林⑮を直接比較することなど)での集团的规范の側面からの比較研究を目指す。

員・圓・圓二言語語動(ここでは日本語と中国語)の個々の語 に同じ基準で相応するコード付けの方法を探求する

揺田島毓堂(1939)は次のように述べている。“語動の比較研究については(中略)意味構造分析が有効であると思う。意味コード付けはそのための作業であり、基本的には⑯分类語動表⑯によりながら、

④ 1984年に④同义词词林④(上海辞书出版社)が作られた。もともと中国には⑤类书⑤(⑥太平御覧⑥・⑦永楽大典⑦のような)と呼ばれる百科事典的な内容をもつ書物が存在したが、约苑万語を盛り込んだ意义分类語動表が新しく登場したわけである。⑧圓大类、⑨源中类、⑩源小类で、猿怨家項の語群に分けられている。(イギリスの⑪英英分类語動⑪、日本の⑫分类語動表⑫、ロシアの⑬ロシア語同义词典⑬、ドイツの⑭同义词典⑭を参考した)

その不備を補おうとするものである。そして、この比較語動研究の方法は、他言語に適用すれば、いわゆる対照研究になるが、同一言語の歴史相に適用すれば、語動史の記述になるのである。そのための方法こそが意味構造分析であり、その基礎はまさに各語に対する意味コード付けにあるのである”^⑤。

揺比較語動研究のために、田島毓堂氏は!!! 単語コード!!! と!!! 語素コード!!!^⑥を設定する方法を提唱した。そして、㊦分類語動表㊦を基準とすることによって、个々の語に!!! 単語コード!!! と!!! 語素コード!!! をつける。田島毓堂氏はまた“日本語以外の言語についても同様にコードを付けなければ、比較はできない。”^⑦と述べている。

揺比較語動論の観点で二言語の語動の比較研究を行うために、上述のように个々の語にその構成要素を分析するため、それぞれ単語コードと語素コードを付けて比較することになる。その意味で、本研究は、日本語と中国語とにどのように同じ基準でコードを付けるかについての一実践でもある。

⑤ 田島毓堂!!! 意味コード付けに関する諸問題—異文化相互比較・理解をめざす比較語動論のために—!!! 晃文社㊦ 開発・文化丛书 晃文社㊦ 開発における文化と社会—!!! 開発!!! における社会・法・文化・教育の変容—㊦名古屋大学大学院国際研究科揺晃文社㊦

⑥ 田島毓堂!!! 比較語動論のために—調査単位とコード付け—!!! (㊦比較語動研究の試み晃文社㊦ 開発文化丛书 晃文社㊦ 開発)

揺揺揺これまで、意味コードという用語を用いてきた。しかし、上記のごとく、文法質にまでコードを与える範囲を拡大すると、もはや、!!! 意味!!! ということがふさわしくなくなる。(中略)これを!!! 語素コード!!! と名づけたい。いままで!!! 意味コード!!! と称しているものを全部ふくむ。それと共に、各単語の意味単位に付けるコードは揺晃文社㊦...とし、その単語(語動調査の単位語)全体に付けるコードを揺晃文社㊦と称することとする。

⑦ 田島毓堂!!! 意味コード付けに関する諸問題—異文化相互比較・理解をめざす比較語動論のために—!!! 晃文社㊦ 開発文化丛书 晃文社㊦ 開発における文化と社会—!!! 開発!!! における社会・法・文化・教育の変容—㊦名古屋大学大学院国際研究科揺晃文社㊦

員・圓・猿語勳論を完全させる

従来の語勳研究の所謂——語勳の構成要素となる個々の語の究明、あるいは一定の分野における語勳の究明の蓄積から語勳の全体を把握する方向と逆に、今回の研究は語の集合という意味での!!!語勳総体論!!!^⑧的な研究で、!!!語勳元素論!!!^⑨に比べて千年以上の開きがある!!!語勳総体論!!!的研究を行うことによって、語勳論の両翼、!!!語勳元素論!!!と!!!語勳総体論!!!を描えることになる。従って、語勳論を完全させるのである。

⑧ 田島毓堂!!!語勳論の課題—集团的规范と个别的实现—!!! ((名古屋大学国文学部) 研究員(員))

田島毓堂!!!語勳論のための用語!!! ((名古屋大学文学部研究论集) 員(員))

揺揺揺総体としての語勳を対象とする分野である。語誌に比べて千年以上の開きがある。その研究の必要性に対する認識の欠如と、従って方法の欠如が進展を阻害していた。コンピューターはよき道具である。手段は整った。方法の開発と研究の意義の追求は急務である。体系論、分類・組織論、語勳史研究、比較語勳研究などはこの領域の研究テーマである。その基盤として、単位の設定、語勳調査、各種の基本語勳の選定が必要である。計量語勳論はその際の方法を提供するものである。これについても、个别的实现としての研究と、それを通じての集团的规范としての語勳の研究の面とがある。

⑨ 田島毓堂!!!語勳論の課題—集团的规范と个别的实现—!!! ((名古屋大学国文学部) 研究員(員))

田島毓堂!!!語勳論のための用語!!! ((名古屋大学文学部研究论集) 員(員))

揺揺揺〔語勳元素論〕は!!!語!!!を対象とする領域をいう。!!!語!!!の意味・用法・歴史・使用範囲等あらゆる問題を扱う。こういう、研究には!!!語誌!!!という用語が用意されているが、この語誌のほかに、語構成研究、語源研究も語勳元素論の守備範囲である。この成果は最終的に!!!辞書!!!に結集するであろう。語勳元素論について、集团的规范の問題として扱う場合と、个别的实现の問題として扱う場合とがある。

員・圓・源研究の成果を応用する

員語勤はいろいろな視点によってその構造を分析することができる。どういう品詞の語がどういう割合でできているかという品詞別語勤構造、どういう語種の語がどういう割合でできているかという語種別語勤構造、どんな語がどの意味分類に属するかという意味分類別語勤構造などというように、その語勤をある観点から見て如何なる構造になっているかと分析することができる。語勤の品詞分布、語種別比率、層別カバ原率、などはこのように一言語の語勤構造を明らかに表明するための徴標である。研究で得られたデータによって始めてそれぞれの語勤構造分析ができると言えよう。

圓語勤全体像を究明することに伴い、語勤の要素となる個々の語についての比較分析もその示差的特徴^⑩を取り出すことなどに大いに役たつであろう。

員・猿方法

猿!!! 比较語勤论!!! 的研究はその蓄積がまだ浅い。その上異なる言語間の比较研究となるとその难しさを一层増す。これまで、⑩分類語勤表^⑩を使って意味構造分析の研究については始めのところに述べたが、それらの研究の発展で今日の猿!!! 比较語勤论!!! に辿りついたと言

⑩ 石綿敏雄猿高田猿誠^⑩対照言語学^⑩猿圓

猿ある示差的な意味特徴を共有する語を取り出すという手順によって、それぞれの言語に相对应する語野を設定し、両方の言語について、そこに属するそれぞれの語を対立的に区別している意味特徴をとりだして、それらがどこで共通しているか、どこで違っているかを示そうというのが対照分析の目指すところである。すなわち、それぞれの言語でどのような意味特徴が示差的に働いているかを見ようとするのが対照分析だということができる。

える。それを自ら!!! 比较语勳论!!! と名付け、更に異文化の比较・理解ということをその根底に持って出発したのが田島毓堂氏である。田島毓堂!!! 语の単位—语勳论の見地から—!!!、!!! 荣花物语の语勳研究序説—和歌语勳について—!!!、!!! 源氏物语语勳意味コード试案—语勳の意味构造分析のための、意味コードの付け方—!!!、!!! 源氏物语と絵巻词書の语勳—比较语勳论的考察试案—!!! によって、理论・研究対象と共に、方法的にも明確に示されたのである。それに基づいて外国語との比较研究の实践として、ジジック・スパルジ氏は、インドネシア语の基傒语勳的なものを対象に日・伊比较语勳论的研究を試みた。そこで、氏が着手したのがインドネシア语の基傒语勳的なものとその日本語訳との比较であった。申揺玫澈氏は、圣书を使って韓国語と日本語の比较语勳研究を行った。つまり个别语勳を対象とした研究であった。一方、同一言语の历史的側面に視点をおいて、さまざまな意味分类方法を試みて研究しているのが広瀬英史氏の源氏物语の原文とその現代语訳の比较が推荐できる。本研究は、田島毓堂氏の理论及び方法を全般に受け継ぐとともに、更に上に述べているいくつかの研究を継承しつつ、以下に示す方法に従うものである。

員・猿・员语勳の选定

揺 日本語と中国语の语勳全体像を見る研究の目的から、日本語と中国语の基傒语勳を研究の対象とする。日本語については、㊦日本語教育基本语勳 苑种比较对照表㊦をもとにして、そのうちの圓种以上の语勳表に共通してとられている猿員縁语を採用した。中国语は、㊦外国人实用漢語常用詞表㊦猿員縁語(北京語言学院 员縁)㊦とする。基傒语勳の选定には膨大な労力と時間がある。それに、日本語、中国语のように一国语的な意味の一言語における基傒语勳の选定は、その

㊦ ㊦外国人实用漢語常用詞表㊦(猿員縁語)は、その本文に、実際に掲載しているのが猿員縁語である。従って、本稿の中国语部分はその猿員縁語について考察しているものである。